

## 令和6年度予算案について

(R06.02.09 記者発表)

令和6年度 当初予算がまとまりましたので、その概要を申し上げます。

令和6年度の当初予算の編成にあたりましては、「第7期総合計画」及び「第2期財政標準化計画」の着実な推進を基本として、人口増加が続く、持続可能な千歳の未来に向けて、直面する課題解決に積極的に取り組



むとともに、公約に掲げた政策を具現化するため、優先課題推進枠として予算の重点化を図り、取りまとめを行ったものであります。

その結果、新年度の予算であります。一般会計では、

総額526億7,600万円、これは前年度の政策予算後と比べ、36億1,499万3千円、7.4%の増となり、

これに、6特別会計と公営企業会計を加えた全会計の予算総額では、876億7,073万6千円、前年度の政策予算後と比べ、27億5,496万3千円、3.2%の増となり、過去最高の規模として編成したところであります。

その中でも、予算の重点化を図った「優先課題推進枠」には、1点目として、「安全安心に関する事業」には、「子育て支援」や「教育」、「環境」や「防災」など24事業を、

また、2点目として、「活力あるまちづくりを推進する事業」には、「半導体関連事業」のほか、「空港開港100年に向けた取組」など21事業を掲げております。

配布しております「優先課題推進枠の概要」の資料の中で、特徴的な事業を何点か申し上げます。

まず、「安全安心に関する事業」であります。

「子育てアプリ導入事業費」99万6千円であります。

子育て情報の発信に加え、こどもの成長記録の管理や各種手続のオンライン予約などが行える「子育てアプリ」を導入し、切れ目のない子育て支援の充実を目指す取組であります。

次に、「子どもの遊び場利用者支援事業費」206万6千円あります。

千歳市民の屋内遊び場の確保を図るため、恵庭市の屋内遊び場「えにわファミリーガーデンりりあ」の利用料金について、恵庭市民と同額で利用できるよう補助を行うものであります。

これは、令和元年に締結しました「千歳市と恵庭市との連携施策の充実拡大に関する覚書」に基づき、公共施設の相互利用を行うものであります。

次に、「へき地児童クラブ運営事業費」298万4千円であります。

児童館や学童クラブを設置していない東千歳地区に、地域の父母会が開設する「東千歳地区 子供クラブ」の運営する費用の一部を補助するものであります。

次に、「教育・保育施設冷房設備整備支援事業費」

1,927万5千円あります。

市内の教育・保育施設において、夏季における熱中症対策として、冷房設備を新たに整備する際に要する費用の一部を補助するものであります。

次に、「学童クラブ・児童館冷房設備整備事業費」

1,268万3千円あります。

こちらにも、夏季における熱中症対策として、児童等が安心して過ごすことができる環境とするため、市内の学童クラブ・児童館に冷房設備を整備するものであります。

次に、「産前・産後ケア事業費」1,045万5千円であります。

市内産後ケアの更なる充実を図るため、長時間の産後ケアを行うデイサービス型ロング（7時間以内）の区分を新設するものであります。

次に、「インクルーシブ遊具整備事業費」1,930万円であります。

障がいの有無に関わらず、誰もが遊べるインクルーシブ遊具を「北光公園」に設置し、障がい児と健常児と一緒に遊ぶことで、相互理解の促進と共生社会の形成につなげるものであります。

次に、「ちとせ住まいのゼロカーボン化推進事業費」356万3千円あります。

カーボンニュートラルの推進と快適に暮らせる良質な住宅ストックの形成を図るため、給湯器を省エネ機器に更新する際に要する費用の一部を補助するものであります。

住宅設備の省エネルギー化を進め、家庭からのCO<sub>2</sub>の排出を抑制するための取組であります。

次に、「小中学校冷房設備整備事業費」1億6,846万円あります。

全小中学校25校の普通教室と職員室を対象に冷房設備の整備を進め、小学校は令和7年夏から、中学校は令和8年夏から供用開始するものであります。

本年3月第1回定例会の補正予算により、まずは、小学校15校の整備に着手する予定であります。

次に、「活力あるまちづくりを推進する事業」として実施する事業であります。

まず、「千歳美々ワールド整備事業費」  
5億4,048万8千円であります。

美々ワールド2期地区に立地する次世代半導体製造工場の事業活動に必要な道路などのインフラ整備を行うとともに、上下水道、電力、ガス等の関連インフラ整備の全体調整などを実施するものであります。

令和6年度は、調整池の整備工事、消火栓の整備などを実施します。

次に、「自動運転社会実装推進事業費」7,989万2千円あります。

ドライバーの高齢化や人手不足が深刻化している公共交通分野におきまして、利便性の高い公共交通を維持・確保するため、「路線バス自動運転の実証実験」を行うものであります。

本年秋に向陽台地区から千歳駅前間での実証実験を予定しております

次に、「A I オンデマンド交通導入推進事業費」

1, 000万8千円であります。

A I を活用した効率的な運行により、アプリや電話からの利用者予約による「オンデマンド交通」の実証実験を行うものであります。

こちらも、本年秋に向陽台地区での実証実験を予定しております。

次に、「将来ビジョン・人口ビジョン策定業務経費」

3, 174万7千円あります。

半導体関連産業の集積により、今後まちに出現しうる変化等を洗い出し、令和7年度から10年間のまちづくりを進める基本指針とするための「将来ビジョン・人口ビジョン」を策定するものであります。

次に、「2026ちとせ・空港開港100年記念事業費」

5, 271万7千円あります。

空港とまちの歴史を再認識し、郷土愛を育み、「空港があることの誇り」を後世に伝えるため、引き続き、記念動画の作成を進めるとともに、空港発展の歴史を「学習まんが」として

編集・作成するものであります。

このほか、実行委員会と連携して啓発活動を行うなど、空港開港100年に向け、機運の醸成を図ってまいります。

次に、「行かない窓口導入事業費」103万7千円であります。

「住民票の写し」や「印鑑証明書」等の各種証明書発行申請を、市役所に行かなくても自宅等から、スマートフォン等により行うことができるオンライン申請を導入するものであります。

次に、「書かない窓口導入事業費」1,232万9千円あります。

マイナンバーカードや運転免許証等を活用し、申請書に氏名などを記入せずに各種証明書の発行や申請手続が可能となる「申請書作成支援システム」を導入するものであります。

次に、「スマート農業普及推進助成事業費」860万円あります。

農業用のトラクター等にGNSS（全地球航法衛星システム）を活用した自動操舵システムを導入する農業者に事業費の一部を補助するものであります。

次に、「企業誘致推進事業費」829万6千円あります。

半導体関連企業を含む多業種の企業を訪問し、企業の動向・

意向を把握するとともに、本市の立地環境や新たな工業団地の造成に向けた取組についてPRを行うなど、積極的な企業誘致を推進するものであります。

次に、「土地利用計画業務経費」95万円であります。

半導体関連企業の進出に対応するため、現在不足している工業用地の選定及び土地利用計画について、関係機関、省庁と協議・検討を行うものであります。

以上、特徴的な事業をご説明いたしました。

特に、ラピダス社の工場立地の表明以降、インフラ整備はもとより、市民への説明会、関連企業の進出に伴うアンケート調査の実施や受入体制の検討など、その時々において対応してまいりました。

また、現在、将来ビジョンの策定を進めておりますが、

今後は、住環境や道路、医療福祉、教育など、各分野への波及やその対応が求められてまいります。

こうした、様々な“動き”や“変化”が生じる中、これらの状況を的確に捉え、直面する課題にしっかり取り組んでいくことが、本市の更なる発展につながっていくものと考えており、令和6年度当初予算を「輝く未来につながる“まちの鼓動”予算」と名付けたところであります。

現在、喫緊の課題である半導体関連企業の集積等に伴う工業用地の不足への対応として、新たな工業団地の検討を進めており、3月定例会の補正予算に「用地確定測量等の関連費用」を計上する予定としております。

今後も、半導体関連の事業に関しては、時機を逸することなく、スピード感をもって取り組んでまいります。

この当初予算案につきましては、3月1日に開会予定の「第1回市議会定例会」に提案する予定であります。

配付資料につきましては、担当から説明させます。

私からは、以上であります。